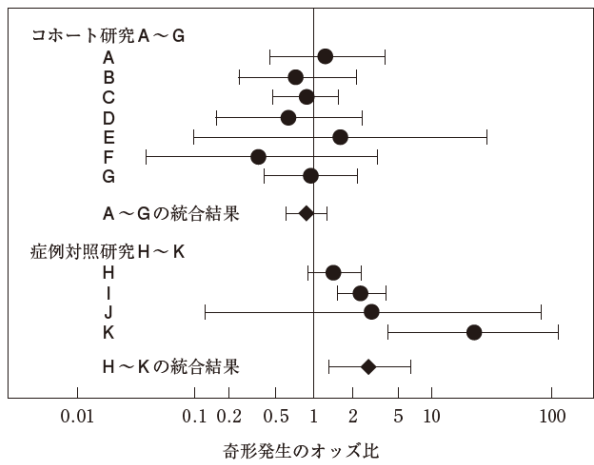


105-230

問題文



妊娠中のベンゾジアゼピン系薬剤の使用と奇形発生の関連
(コホート研究 A～G は、症例対照研究 H～K と比較するためにオッズ比を使用)
(出典：BMJ. 317：839-843, 1998)

1. この図のような解析をシステマティックレビューという。
2. この図はファンネルプロットとよばれる。
3. コホート研究 A～G を統合した結果から、この薬剤を服用すると、奇形発生のリスクが統計学的に有意に低くなることがわかる。
4. この図の J の結果だけでは薬剤服用と奇形発生との関係について明確な結論を出すことができない。
5. 症例対照研究 H～K を統合した結果から、この薬剤を服用すると、奇形発生のリスクが統計学的に有意に高くなることがわかる。

解答

問230：3問231：4, 5

解説

問230

オッズ比は ad/bc です。

$$(30 \times 3000) / (1000 \times 35) \\ = 90000 / 35000 \text{ です。}$$

3 より小さく 2 より大きいと評価し、選択肢を見れば、正解は 3 です。

参考)

問231

選択肢 1 ですが
この図は、複数の論文についての結果を統合、分析しています。このような「解析」は「メタアナリシス」です。論文の系統的な収集、評価をシステマティックレビューといいます。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 ですが

フォレストプロットです。ファンネルプロットではありません。よって、選択肢 2 は誤りです。 ()

選択肢 3 ですが

統合結果のバーがオッズ比 1 をまたいでいるため、統計学的に有意ではありません。よって、選択肢 3 は誤りです。 ()

選択肢 4,5 は妥当な記述です。

以上より、正解は 4,5 です。